

	質問	回答
1	ネットワークを使うことが自分たちの仕事だと言い切れるマインドをもてるかどうか	おっしゃる通りです。そこまで求められてはいませんから。私の場合やりたいからやっている、というところですね。おもしろいからです。そこがキーですね。
2	ひとり職場の問題点、よくおっしゃってくださいました！相談する人がいないのは辛い時もあります。非正規なので、出張依頼のある研究会以外は参加をためらっていました。(今回のフォーラムも迷いました)正規の人が対象なのだろうと思ったので。勇気を出して参加してよかったです。	来てくださってよかった！これからは堂々と参加してください。学ぶことをためらう必要はどこにもありません！わたしもがんがんにいきます。
3	横山さん やはりあなたはすごい！！	ありがとうございます！そして、参加してくれたあなたもすごい！これからもいっしょにがんばりましょう！
4	SLiicあるいは教職教養身につけ隊の運営において今困っていらっしゃることはありますか？(付:ぼのぼの似顔絵)	こういう自主的な活動で常にネックとなることは、いかに目的をぶれずに活動を維持していくか、またコアメンバーの独断にならないようにするか、だと思います。どちらの活動もまだまだこれからです。私自身だけのことで言えば…勤務とこれら活動との兼ね合い、そしてすべてにおいて時間が足りない！ことが一番困っていることです。
5	つながるつながるげんきになる(付:SLiic×Kumori×Jcross三角関係図ちゃん)	つながって、元気になって、刺激し合って向上しあっていくことのできる三角関係でありたいです。ありがとうございます。
6	「教職教養身につけ隊」こういう研修を受けたかった！一番！でも、情報もなかったし機会もなかった。これが今、一番必要です。	私も、こういうのないなあと仲間内で話していて、じゃあ自分たちでやっちゃえ、というノリです。私たちもまだスタート地点です。よかったら参加してください！
7	企画力がすごい 実践力がすごい	お褒めに与り恐縮です。が、これらの活動は私だけのものではないです。導いてくださる方々や優秀なスタッフ、そして仲間や友だちのおかげです。これらみなさんへのお褒めの言葉と受け取っておきますね。
8	教職教養身につけ隊 たくさんいる学校司書のモチベーションが違うと思う。それをこれからどうしたいでしょう？学校図書館の中でひとりよがりになっている人達へどう声がけしますか	厳しいするどいご質問をいただきました。これが実は一番の問題だと思います。だって、その勤務条件で、その周りの期待値の中で、さらに何を要求できるでしょうか？無理強いなんかできません。私にできるのは、声がけを惜しまないこと、そして、大いに自分たちの活動の様子を見せて”ああこんなこともできるんだ”と思っていただくことだけですね。
9	児童心理学、私も学びたいです	本当ですよ、必要ですよ、この知識。教職教養身につけ隊で、ぜひ講座を持ちたいと思っています。優先順位高しです。
10	現場のニーズの集め方	これは、学校司書養成と研修に関する研究や論議に対しての、“もっと私たち現場のニーズも聞いてくれ！”という私の雄叫びへの質問と考えてよろしいでしょうか？教職教養身につけ隊の活動も、そのひとつの役割を果たすと思います。教育学の知識の必要性については、他にも声をあげている人もいます。が、これからの課題ですね。
11	ヨコのつながりがつくれると広がりますね	本当にそうですね。この図書館総合展もその醸成の場ですね。みなさんと場を共に出来たことに感謝します。
12	日々の業務の中で未熟だなあと感じる場面が多々あります。学び続けたいですね	はい。学び続けたいです。私は最近、教員の先生方の考え方やスキルを目の当たりにして、自分には考えや及びもつかない、とガーンとなることばかりです。めげずにどんどん良いところを真似していきたいです。業務に関する知識もまるきり足りません。(いかん落ち込んできた)
13	教職教養で 児童心理+児童の読解力 発達段階 について学べると良いですね	切実にその3つを学びたいです。経験で得た皮膚感覚はあるのですが、その後ろ盾、もしくは誤りを修正する知識がほしいです。従って、やりますよこれは、教職教養で。
14	私も学び続けます。サマーキャンプに参加したい。	ともに手を携えて学び続けましょう！そして2015年9月開催予定のSWC2015でお会いしましょう。
15	ICTでつながる学ぶ の主語は、学校司書？	私は学校司書ですので、学校司書主体で発表を組み立てました。でも、決して学校司書だけがつながって学べばよい、という気はありません。学校図書館を中心に、関係者一同がつながっていっしょに学び合える、というのが理想の完成形ですね。そのために学校司書から起こすことができるアクションは、きっとたくさんあります。
16	教職教養身につけ隊 「司書研修のとりかかりが見つかりました。」教科書・指導書・学習指導要領を見るという、堀川先生のご提案、学習指導要領自体を見たことのない現役司書がほとんどでした。まず、第一歩が司書教諭の講座は最適ですね。	教科書や指導書の内容を把握してこそ、先生方に的確な良いサービスができるというのは、経験を積んだ学校司書ならみんなわかっていることだと思います。このことを、これから学校司書になる人たちが、最初から必要なことと認識できるかどうか、が重要だと思います。学校司書がこれらの資料を容易に見ることができる環境も必要です。これが案外ネックとなっていてますよ現場では。そして、司書教諭課程だけでなく、教職課程の中にも私たちが抑えるべき知識があると確信しています。

17	現在の月1回の学校司書の研修ではどんなことが行われているのですか？	大変バラエティに富んだ色々な研修を受けさせてもらっています。公共図書館の評価表を使って選書のシミュレーションを試みたり、現場で行った資料提供についてリストを提出したりといったワークショップ型から、他自治体のベテラン司書や公共図書館、出版社の方の話を聞く講義型まで、実に様々です。ストーリーテリングの実習もしましたよ！本当にありがたいです。そして私たちの仕事には定期的な研修が必要だと、しみじみ思います。
18	学び続けることとつながることは司書にとって一番大切なことだと思っていたので、再認識ができてよかったです！	賛同者がいってくださってうれしいです！そして私も今回の発表を行って、再認識できました。感謝しています。
19	「学習指導案の見方」っていいですね 教員とのミゾをなただけ埋めていきたいと思っている私には魅力的でした。	つまりコミュニケーションには共通言語が必要なわけですよね。先生方との間に持つ共通言語のひとつとして、学習指導案にその可能性があるのではないかと思います。先生方の思考法を可能な限り把握したいです。そういう前提でサービスをしたいです。私も日々これ試行錯誤ですよ。でも、そういう気持ちでいると向こうにもそれ伝わるみたいですよ。
20	SLiic 教職教養身につけ隊 とても素晴らしい取り組み&活動だと思いました。横浜市の新米学校司書です。時間が無い、お金ない私たちなので、身近にネットでの研修の場があるとは知りませんでした！！ぜったい見に行きます！！	ありがとうございます。そして、どうぞネット上の色々な情報をチェックしてみてください。SLiicと教職教養だけでなく、私も、そうやって学びの機会を見つけています。色々な人たちの考えを聞くことは、何よりも勉強になります。どんどんご自分の世界を広げてください。横浜のみなさんにははさご期待しています！
21	「教職教養身につけ隊」twitter上で少し見聞きしていたが具体的には把握していなかった。いづれ機会があれば参加してみたいです。	お目にとまっていたこと、うれしいです。もしよかつたらぜひ参加し見てください。こういうのはタイミングとご縁ですから。お待ちしております。
22	「ひとり職場」の現状について司書さんの孤立をよく耳にします。各校の司書教諭さんが現状をどう認識されているか、又、情報共有されているか気になります。	まず申し上げなければいけないのですが、残念なことに、司書教諭と学校司書がチームとして活動する、ということが普通に行われている、とはいえないです。そして、司書教諭発令により授業時数の軽減が行われるということも、あまりありません。このような現状で、司書教諭の先生が学校図書館に力をそそいだり、学校司書の抱える問題に目を向ける、ということは、実に大変です。お互い大変なのです。でも、私たち学校司書の方から先生方に働きかけるべきこと、できることもたくさんあると思います。
23	この話をうちの教育委員会の担当者に聞かせたい！	…お察しします。自校の先生方だけでなく、さらに上の行政の方々に届けたい声がたくさんありますね。共通言語を持ちたいです。課題です。
24	学校司書の勤務環境(待遇、研修…)を改善するのに、一番重要なことは何だと思われますか？	一番重要なのは、行政の理解です。しかし行政を動かすのは現場の者には大変なことですね。私にできることは、遠回りのように見えても、良い仕事をしてみせること、現状の問題点について発信していくことで、結果的にまわり理解者を増やしていくことだと思っています。
25	学校司書(認知されるために)必要とされる知識・モラル等について「問題集」の例題を考え、検討中です(関西)現場の学校司書方々の学びたいこととの照合もできるようにしたいと思います。	大変心強く、また興味深いお話です。もしよければ、結果をどこかで情報発信してください。もしくはSLiicにコンタクトくださるとありがたいです。
26	職種によって効果的な比率は違うと思いますが司書の場合は…？(*円グラフ2種類)	学校司書の立場だと、今のところOJTは難しいですね。でもこれが受けられるような環境となるならば、独学と研修と同じくらいの力をかたむけたいところです。そして、ここにSNSを入れ込むというのではなく、これらすべてを補完するものとする、というのはどうでしょう？職種によってこれらの効果的な比率があるのですか？そのことよく知りたいです。
27	話術がすごく上手で前向きに明るいお話に横山さんの活動ともども尊敬しました	恐縮です。照れます。でも話を楽しんで聞いてくださったようで、とてもよかったです。私えらそうにしていますが、全然まだまだなんですよ。精進します。
28	身につけ隊 MOOCsの学校図書館版ですね。放送大学の活用は考えませんでしたか。	実は隊員の中にも放送大学を視聴しているものが複数あります。しかし、私たちの目指していることは司書教諭課程を受講することではなく、学校司書に必要な知識や要件を実地に学びつつ探ることです。そしてMOOCs、gaccofにはとても及びもつきませんが、そういうmassiveでopenな方向性を目指したい、と大口たたきます。
29	学校図書館で発揮するスキルにはどんなものがあるのですか？	いわゆる業務に必要なスキルとして、まず図書館に関するもの(分類や本の補修など)がありますね。そして、私のような小学校司書ですと、読み聞かせや本の紹介その他様々な、子どもと本をつなぐためのスキルやテクニックが必要です。学校教育への正しい理解を持ち、それを図書館活動と関連付けることも大切です。そして、これはどんな仕事にも言えることでしょうけど、コミュニケーション能力がとてども求められると思います。つまり、やることも学ぶこともいっぱいあります。がんばります。
30	年配者は「愛あるおせっかい」が必要	それはわたくしに対する大いなる励ましですね。心がけます。私もまだまだですが、悩んだり不安を感じている人がいるなら、そしてそうすることでその人の気持ちが軽くなるなら、何でもしたいと思います。

31	「ひとり職場」はメリットもある。(自分がプロマネ)	確かに、大変気楽なところはありますね。人によるでしょうけど。私もその長所を感じている者ではありません。ただ、本当のプロジェクマネージャとは言えないと思います。ところによっては、そんなに自由にやらせてもらえなかったりということもありますし。逆にまったくおまかせにされるのも危ういことですね。私は結構自由にやらせていただけた方なのですが、そこら辺の兼ね合いというかバランスを、どう自分の中でとるかが、常に課題です。
32	私は一人の方が快適！ 女の職場疲れる	私も一人でいるのが本当は好きです。また、この業界は圧倒的に女性が多いので考えさせられます。良しにつけ悪しきにつけ、ひとり職場という形態はおそらく変わらないでしょうね。ですからなおさら、快適さのみを良しとせず、なすべきことや問題点への対処などを考えていきたいです。
33	ひとりじゃありませんことよ(* 書棚のニコニコした本と読む人の絵)	こちらの絵を拝見するに、「本たちが一緒だからひとりではない」ということでしょうか。私も本と共にいられるこの仕事は役得だなあと考えています。でも今回私が取り上げた「ひとり」は、司書がひとり、ということですから。それはさておきとてもかわいい絵ですね。
34	「学びつづける」 学び＝図書館の外にも！ 図書館の外から眺め直す必要も感じています	本当にそうですね。校種や館種を超えたつながりだけで満足せず、「学校」や「図書館」という文脈だけでものを考えず、視点を置きかえて、客観的に今自分のいるところを見直すこと。私も心がけます。
35	教職教養身につけ隊 実際の現場で必要なものが学べる事が出来たらうれしい	おっしゃっていることと少し違うかもしれませんが、私は学校司書にも、教員のような「教育実習」や「研究授業」のようなものがあればいいのに、と思います。まあ現場は常に学びに満ちてはいますけど。さらに他者の目によるフィードバックがあれば、どんなに効果的でしょうか。そして、職場と直結した研修は、絶対必要だと思います。
36	ニーズをどう言語化できるか	はい、そうですね。感情や感覚でなく、根拠を示して伝えなければいけません。学校司書資格課程というのがあったらどういう科目が必要か、ということを考えるという活動も一つの方法であると思います。教職教養身につけ隊では、これに取り組み可能な限り発信していきたいということです。
37	月1の研修ではベテランの方と新しい方との学びたいことや悩みのギャップはどのよううめていますか	お話ししたこの研修は学校図書館支援センターが企画しているものです。毎回非常に興味深い内容です。また、全体的な底上げという目的もあると思われるので、これについては何も言う必要は感じません。ただ、他での色々な自主的な研修や勉強会では、おっしゃるようなギャップについてよく考えさせられます。企画運営する立場になった時は、どういった人々を対象として、どのような方法で開催するかということが、とても重要だと思うようになりました。ベテランと新人がそれぞれの役目を果たして、参加者がみなそれぞれ効果的な学びを得られるような、そんな学びの場を模索したいです。
38	現場のニーズの具体例を教えてください。その解決案もあれば…	ここで私がふれた「現場のニーズ」とは「この仕事をする上で身につけたいスキルや知識」ということでしたが、このことでよろしいでしょうか？たくさんあります。教育学の基礎、児童心理学がまずあげられます。また、本の補修や装備の技術も必要項目でしょう。また、先生方がどのようなねらいで授業をなさるのか、それを司書が把握する仕組みが必要です。ここで挙げられません。解決案というのは…国規模の政策から自校での私的な取り組みまで押し寄せて今頭の中がぐるぐるしています。つまり一言で言えませんが、今度一緒にお話ししませんか？
39	学び続ける姿勢が必要ということがわかった	下線付きで強調してくださってありがとうございます。それが私も一番みなさんに伝えたかったことです。自分への覚悟の言葉でもあります。
40	月1回の研修では少ない！	他者から与えられる研修だけが学びのすべてということでしたら、月1回は少ないですね。でも、それに自分で上積みしていったらどうでしょうか。色々なタイプの学びを組み合わせる中のひとつということならば？今のところ私は、この研修は月1回で十分です。というか、宿題が出されることがあるので、結構大変です。
41	SWC2013がきっかけでtwitterデビューできました。感謝！	よかったです。きっかけになれたこと、うれしいです。私もSLiiiCと出会わなければ、全然状況が違っていたんじゃないかと思います。やはり人生は出会いとタイミングですね。
42	SLiiiC,知らなかった…クラウドファンディング,知らなかった…やはり一歩先を行くお話でしたね。刺激を受けました。	ほほう、そしてこれであなとも知ったわけですね。私も同じようにして少しずつ世界を広げているのです。刺激を受けたと言ってくださってうれしいです。お話させていただいた甲斐がありました。
43	自己完結してしまっている司書、学ぶ必要を感じていない司書を揺さぶるにはどうしたらよいと思われるか？=底上げの方法	閉じこもって外を見ようとしていない人に何ができるのか、難しいですね。また、そこまでの権利が自分にあるのか疑問もわきます。私は、とりあえずこれから色々吸収しようとしている人に、とにかく声が届くようにしたいです。そして私もその人々から学びたい。きっとすべてうまくいくわけではないけれど、「いつでもウェルカム」な姿勢は、常に忘れないようにしようと思います。
44	よくぞ学校司書の身の上を伝えてくださいました！ こういった具体的な事を公の場で伝えてくれた意義は大きいです！しかし、もっと多くの人に聞いてもらいたい！	ありがとうございます！でも私の他にも、こういうことを発信している人たちがいますよ。そうやってみんなで声をあげていくことで、変わっていくものがあると信じたいです。今回は学校図書館という枠を超えたところで話をさせて頂けて本当に感謝しています。

45	学校の理解なく、研修会に参加するのは独自で開拓しなければならない現状。	そして、ここに来てくださったんですね。素晴らしい。独自開拓大いに結構ではないですか！心ある司書たちはみんなそうやって地平を切り開いていますよ。またどこかでお会いしましょう。
46	クラウドファンディングで学校の備品、本などの資金調達できるのかな	さて、どうだろう、ちょっと難しいかも。学校という組織はあまりに縛りが多いです。学校図書館の所蔵本は備品扱い、つまり学校の財産だったりしますし。でも、話の持っていくようで可能かしら？すみません、私には答えられません。ぜひご自分で画策なさって見てください。
47	ひとり職場の困難さは、全く同感です。私も2013年から学校司書を拝命しましたが、ブックコートのかげ方から、知らないことばかりで大弱りでした、	私も同じです。大弱りの泣きそうなのを乗り越えて今があります。そんな人たちがばかりです。そういう人たちが気楽に学べる場を、という発想でSLiicCが立ち上がったわけです。今は必ずしもこの目的そのもので活動していませんが、“ネットを利用したつながりと学び”という考え方はそのままです。
48	教職教養身につけ隊の参加は可能ですか？自分たちで行う場合どの様に講師を依頼したらよいですか？NET？	ぜひご参加ください。またそのうち講座を開きますので、アンテナを立てておいてください。ご自分で講師を招聘して勉強会を行いたいときは、やはり人脈がものをいいます。例えばどこかの勉強会に参加して、その時の講師の方に声をかけてみるとか。SNSを利用したネット上のつながりからでも、もちろん可能です。宝の山ですよ。
49	初心者は何を学びたい?のかがわからない。何かわからないが困っている気がする。困っていることが認識できないカオス状態。多分、現象から学ぶべきことを割り出すチャートやチェックリストが必要？	そういうチャートやチェックリスト現実にあります。もちろん参考になるでしょう。でも、自分の初心者時混乱期のことを思い返すと、やはり手探りでもどんどん実践していった、時に間違っ泣いたりしながら、知識やスキルを身につけていったように思います。その時頼りになるのは、色々な先人たちの実践例でした。そして大切なのは、わからないことをどんどんまわりに質問していくことですね。自分一人で考え込まないで。
50	SWCのREADFOR?で内心びくびくしながら顔をweb上に出したとのことでしたが、事前に学校長に報告しましたか？	していません。SLiicCでの活動は勤務校の管理職に決済を仰ぐ性質のものではない、と判断しています。私がこの時恐れていたのは、学校図書館界における反発です。“金集めなんかして！”と言われることを覚悟していました。実際おもしろくないと感じた方もいたと思いますよ。私たちには、講師の方々にきちんとした報酬を払いたい、という目的がありました。その事はまだこの業界では常識ではないくらいがあるように思います。
51	私も学びつづけたい つづけるぞ	よくぞおっしゃいました。本を読んでネットを探って色々な人と話をして失敗もいっぱいして、少しでも前に進んでいく、そういうものにわたしもなりたい、なります。
52	館種を超えて、図書館員の枠を超えてつながらないと！	まったくもって切実にそう思います。そのつながりは学校図書館員にこそ一番必要なのではないかと。そういう場がネット上にもリアルの場にもどんどん出現することを望んでいます。
53	そうじゃない先生もたくさんいらっしゃいますが、先生って怖い、どうコミュニケーションをとればいいのか日々悩んでいます	この質問に、当日その場で答えたかったです。気持ちとてもよくわかります。でもね。むこうもあなたのこと怖がっているんです。同じですよ。だから大丈夫。ニッコリ笑顔で役に立ちたいということを伝えましょう。事あるごとに伝えましょう。何かたずねていらっしゃったら全力で対応しましょう。そういう気持ちでいけば、ぜーったい道が開けます。司書は一に愛想二に愛想三四がなくて五に笑顔です！
54	学校図書館に対する教員の無理解に苦しんでいるというお話、とても共感しました。私は公共図書館で勤務しているのですが、学校教育支援の中で一番の障壁になるのがその「無理解」です。教員の理解を深めるために公共図書館から支援できることは何かないでしょうか？	まずはこのようなコメントを寄せてくださったことに御礼を申し上げます。公共図書館の方が学校教育支援に対して真摯に対応してくださることほどありがたいことはありません。そしてこれは学校図書館も同じですが、依頼に確実に応えていくということが、もっとも利用者の理解を得るための近道ではないでしょうか。そのために、公共図書館が学校教育によく利用される資料を豊富に所蔵して用意してくださることが、一番の支援となると思います。
55	ソーシャルメディアを活用し学びを深める ソーシャルメディアの活かし方のひとつとしての提案と可能性を再確認しました、	ありがとうございます。きつすでに多くの方たちが普通に行っていることなのだと思います。これからは、さらにコミュニケーションをスムーズにして、効果的な学びを演出できるかどうか、そしていかに輪を広げていくことができるか、ですね。
56	一番大切なのはコミュニケーション、賛成！！	本当にそうですね、これなくして何も始まらないんじゃないかというくらいです。今回こうして、話を聞いてくださってコメント寄せてくださって、あなたともコミュニケーションできました。ここから始まるものがきつとありますね。

横山さん

4

SLiicC あるいは教職教養

身につけ隊の運営において

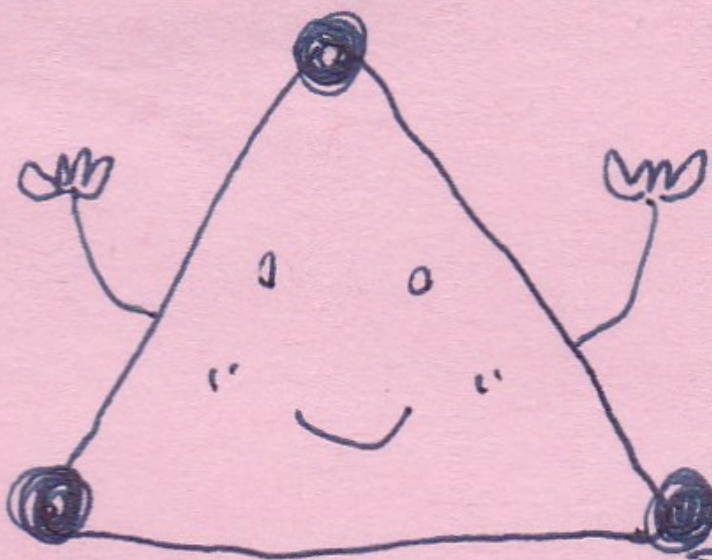
今困っていらっしゃることは

ありますか？



5

S L i i i C ♡



kumosi ♡

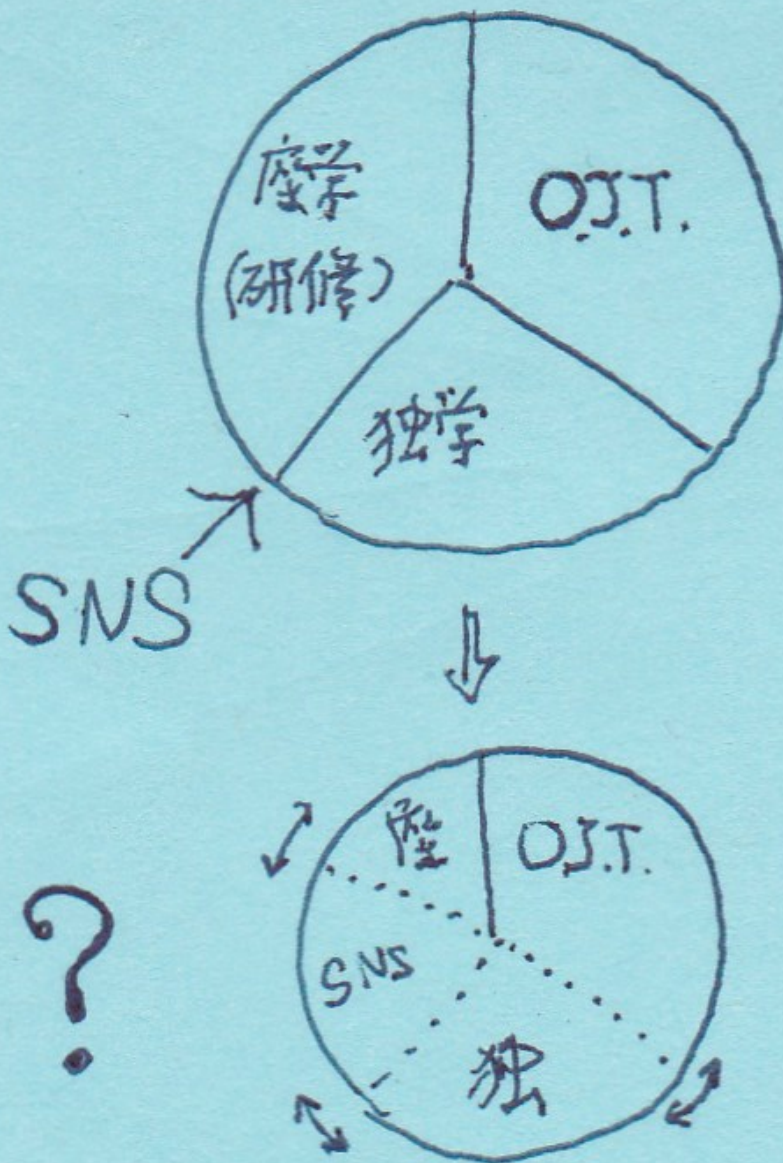
Jcross

つたけ子 つたか子  
げんき=つた子

26.

職種によって効果的な

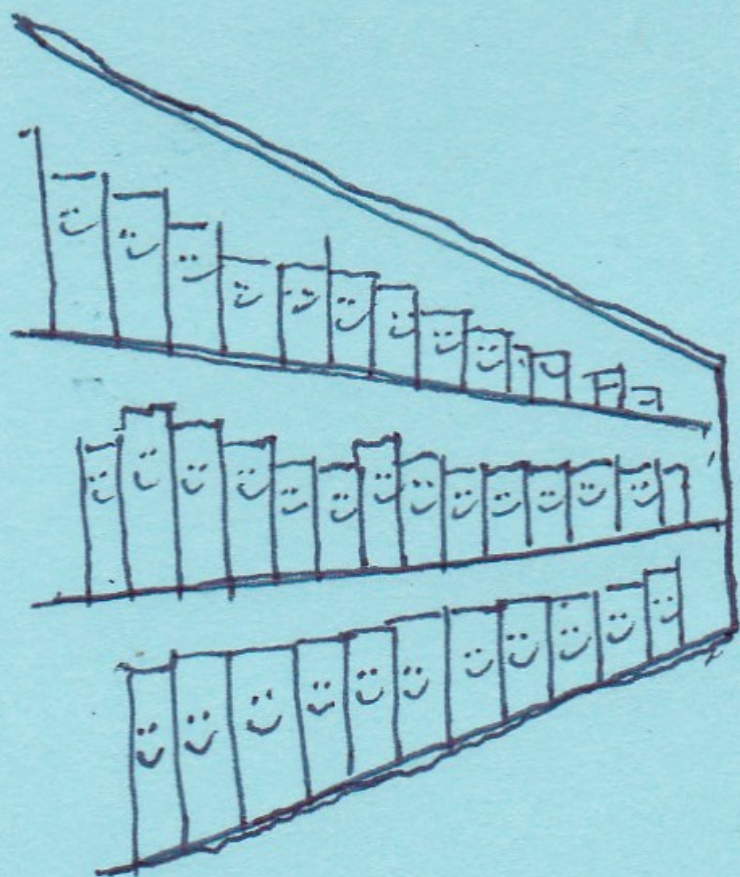
比率はちがうと思いますが



SNS

?

---... SNS ---  
... SNS ...



ありませう  
ありがとうございます

33  
とらじや